

優先度	
A	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性が高く、令和8年度に実施する事業・・・（採択）
A B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性は高いが、必要性や緊急度等を精査の結果、他の優先度Aの事業に比べると令和8年度に実施する必要性が低いと考えられる事業（令和9年度以降に実施）・・・（実施年度を先送りした採択）
B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性はあるが、令和8年度に実施する必要性が低いと考えられる事業・・・（次期実施計画で再検討）
C	事業の必要性が低い、若しくはないと考えられる事業・・・（不採択）

◆優先度別事業数及び査定事業費（第3回査定）◆

（一般会計）

優先度	事業数	第3回査定事業費			
		一般財源	地方債 （市債）	その他 （補助金等）	合計
		【うち特別会計等への繰出金等】			
A	130	6億8,765万円 【5,639万円】	22億1,260万円	22億4,952万円	51億4,977万円
A B	33	— —	—	—	3億1,168万円
B	5	— —	—	—	6,597万円
C	1	— —	—	—	127万円

※金額の端数は四捨五入

※A以外は要求事業費で計算

※事業No.80,81,131,132,133の優先度を「—」としているため、事業数の合計が表3と異なります。

（特別会計等）

優先度	事業数	第3回査定事業費			
		一般財源	地方債 （市債）	その他 （受益者負担等）	合計
		【うち一般会計からの繰入金等】			
A	19	5,639万円 【5,639万円】	12億8,880万円	5億8,849万円	19億3,368万円
A B	2	— —	—	—	4,777万円
B	1	— —	—	—	2,305万円
C	0	— —	—	—	0円

※金額の端数は四捨五入

※A以外は要求事業費で計算

※事業No.23の優先度を「—」としているため、事業数の合計が表4と異なります。